

I. 全体を通じた留意事項

1. 文章は、原則として常用漢字、現代かなづかい、アラビア数字を使用し、平明な表現を心がけること。
2. 用語、固有名詞等の表記の統一に留意すること。
3. 文末に参考文献リストを付けること。
4. 項目の区分は以下の通りとする。なお、「はじめに」、「序」、「結び」、「結論」などには項目数字を振らない。
 - (1) 1., 2., 3., . . .
 - (2) 1.1., 1.2., 1.3., . . .
 - (3) 1.1.1., 1.1.2., 1.1.3., . . .
 - (4) 1.1.1.1., 1.1.1.2., 1.1.1.3., . . .文章中の列挙は、(1), (2), (3), . . . , (イ), (ロ), (ハ), . . . を用いる。
5. 年は西暦を使用する。特別の暦法による暦を使用する場合には西暦年を [] で付記する。

II. 注、文献の表記

1. 注は文末に一括して掲げる。注の番号は、一字分の肩に n) のかたちで入れる。

[例] 農業振興策⁵⁾ は、. . . である⁶⁾
2. 著(編)者名と刊行年の表記は出来るだけ本文中で行い、注には回さないこと。

[例]

× . . . とスミスは言っている¹⁾。(本文)

1) Smith (1990: 20-21). (注)

○ . . . とスミスは言っている (Smith, 1990: 20-21)。(本文)
3. 本文および注で文献に言及するときは、著(編)者姓(刊行年, ページ, 図・式の番号等)の順とする。なお、カッコは半角で表示し、その直後に句読点やピリオド、コンマ、コロン、セミコロンが来る場合を除き、前後に半角スペースを入れること。コンマ、コロン、セミコロン、pp. のあとも半角スペースを入れること。「拙稿」「ibid.」は使わない。

[例] 文章の冒頭で言及する場合

今西 (1974) は . . .

今西 (1974: 26) は . . .

Klein (1987: 16, sec.13.5) では . . .

・文章中または文末で言及する場合

. . . ということがしばしば起こる (鹿野, 1982: 14)。

. . . という説もあるが (McAndrew, 1989: 14), ここでは . . .
4. 本文および注で言及する資料が複数著(編)者の場合は、2人までは全員の名前を出す。3人以上は最初の1名以下は「ほか」、「et al.」、「and others」とする。

[例] 森・風間 (1976) は . . .

Collins and Wortmaster (1953) は . . .

Zipursky et al. (1959) によれば . . .

. . . という (Zipursky et al., 1959)。
5. 同一著者の複数の文献に言及する場合

[例] 今西 (1978, 1980) は . . .

. . . とされている (今西, 1978, 1980)。

Keller (1896a, 1896b, 1907)

Garcia (1941: 45-49, 1944: 105)

6. 一つの注の中に著（編）者の異なる文献が複数ある場合
 - [例] 今西（1978）、鹿野（1988）は・・・
 ・・・・とされている（Smith, 1988; McAndrew, 1989: 202-211）。
7. 著（編）者名が付いてない刊行物の場合は、発行機関名を表記する。機関名が長い場合、本文、注の中では略号、略称を用いてもよい。ただしリストでは正式名称が分かるようにしておくこと。
 - [例] WARDA（1996）（本文）
 WARDA (West Africa Rice Development Association) (1996) "Tooling Up for Inland Valley Development,"
WARDA Annual Report 1996, Bouake, WARDA, pp. 39-43. (脚注内および参考文献リスト内)
8. 上で示した文献参照方式が困難な場合は、注に文献情報を記載する方式を認める。

Ⅲ. 参考文献

1. 参考文献リストは本文・注の後に一括して作成する。文献の配列は著者姓のアルファベット順（または五十音順）とする。日本語文献と外国語文献、また史料、インターネット検索資料の別など、文献を分けて表示してもよい。
2. 同一著者の文献が複数ある場合は、出版年の若い順に並べ、また同一著者の文献が同一年に複数ある場合には、文献タイトルの五十音順、アルファベット順に並べる。なお、雑誌掲載論文、単行書所収論文の場合は、掲載ページも入れる。
 - [例 1] 日本語文献
 佐藤章 (2001a) 「コートディヴォワールにおける換金作物生産と一党制成立過程—PDCI の組織化戦略と『脱ブランター化』」高根務編『アフリカの政治経済変動と農村社会』アジア経済研究所, pp.139-183.
 佐藤章 (2001b) 「第 2 共和制の不安な船出—コートディヴォワールの民政移管と排外主義」『アフリカレポート』32: 3-8.
 吉田光邦 (1973) 『やきもの』日本放送出版協会。
 - [例 2] 英語文献
 Lipton, Michael and Merle Lipton (1993) "Creating Rural Livelihoods: Some Lessons for South Africa from Experience Elsewhere," *World Development* 21 (9): 1515-1548.
 McClure, Arthur F., James Riley Chrisman and Mock Perry (1985) *Education for Work: The Historical Evolution of Vocational and Distributive Education in America*, New Jersey, Associated University Press.
 Mayer, Philip (1980) "The Origin and Decline of Two Rural Resistance Ideologies," in Philip Mayer (ed.), *Black Villagers in an Industrial Society: Anthropological Perspectives on Labour Migration in South Africa*, Cape Town, Oxford University Press, pp. 1-80.
 Paris, Roland (2002a) "International Peacebuilding and the 'Mission Civilisatrice'," *Review of International Studies* 28 (4): 637-656.
 Paris, Roland (2002b) "Peacebuilding in Central America: Reproducing the Sources of Conflict?" *International Peacekeeping* 9 (4): 39-68.
 - [例 3] インターネット検索資料
 CSCW (Centre for the Study of Civil War) (2005) "Armed Conflict, Version 3-2005b," (<http://www.prio.no/cwp/armedconflict/>) (2006 年 4 月 2 日閲覧).
3. 上に示した記載法を取りにくい資料の場合も、著者名、出版時期、タイトル、出版地、出版元などに関する情報を可能な範囲で記し、一覧リストとすること。
4. 英語で執筆する場合、日本語の参考文献・資料等の表記については、著（編）者名をローマ字表記にし、論文タイトル・書籍名を英語に翻訳した後、(in Japanese) と表記する。日本語文献に英語要旨が付記されている場合は (in Japanese with English abstract) と表記する。出版地、出版社名もローマ字表記もしくは英語名で表記する。最後に著（編）者名および論文タイトル・書籍名のみ日本語を付記する。下記の例を参照のこと。

[例]

Sugawara, K. (2015) *A Phenomenology of the Hunting/Hunted Experiences: Corporeal Syntony and Metamorphosis among the Bushmen* (in Japanese), Kyoto, Kyoto University Press. 菅原和孝『狩り狩られる経験の現象学:ブッシュマンの感応と変身』

IV. 図表

図表のそれぞれに通し番号を付し、表題をつける（地図と写真は図とする）。必ず単位、出所を明記する。

[例]

表4. ゴールドコーストの教育統計（1880～1940年）（単位：ポンド，人）

年	政府の教育支出		小学校数*	就学数		
	伝道団体への補助金	合計		男子	女子	合計
1880**	425	1,325	139			5,000
1901	3,706	6,543	135	9,859	2,159	12,018
1919	6,157	54,442	213	22,718	4,600	27,318
1926	30,887	179,000	234	26,039	6,899	32,839
1930		117,135	340	32,224	9,693	41,917
1940			467	46,631	15,201	61,832

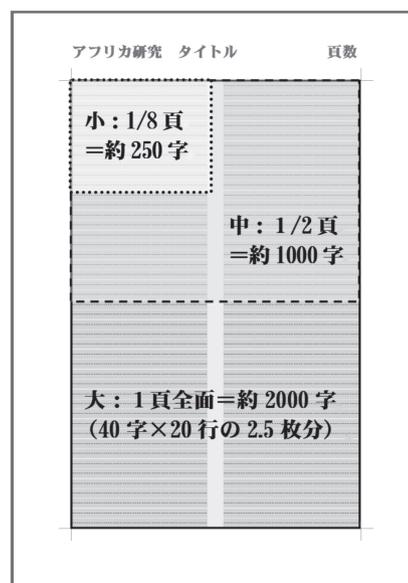
* 小学校数は、公立または政府の補助金を受けているものに限る。

** 1880年の数値は推計。また、1887年の教育令の前は、政府の補助金制度がなかったため、全ての学校が含まれている。

出所：McWilliam and Kwamena-Poh (1975: 141-142).

V. 原稿送付の際の注意事項

1. 投稿フォームを学会ウェブサイトからダウンロードして記入し、原稿とともに送付する。
2. 原稿は横書き40字×20行の設定で作成し、ページ数を入れる。
3. 和文・欧文ともに原稿は電子ファイルでの送付のみとし、紙媒体での投稿はできない。
4. 論文、研究ノートの要旨は、論文本文とは別のファイルとして作成する。和英の要旨は同一のファイルでよい。
5. 図表はそのまま印刷できるように作成し、1図ごとに1ファイルとする。図表を含む原稿の分量が投稿規定に合っていることを確認する。その際、右を図表の大きさと文章の分量との換算の目安とする。
6. 原稿は、『アフリカ研究』の最新号または学会ウェブサイトに記された編集委員会のメールアドレスに送付する。



(『アフリカ研究』刷り上がりページのイメージ)